

# みすずかる

姥捨の棚田から東條遺跡を望む

【トピックス】

—佐久市—

にしちかついせきぐん  
西近津遺跡群

## 平安時代の銅印出土

県内7 例目!!



印面



印面鏡像



私鉤  
印子



○古代の銅印とは

四角形の印面には赤い顔料が残っていました。つまみ部分は蒼鈕(がんちゅう)と呼ばれ、花のつぼみを模倣したものとされています。当時の有力者が、書類に押しつけて利用していたのでしょうか。

○出土状況

平安時代、今から1100年程前の竪穴住居跡から出土しました。矢印の示す位置です。廃屋となった家に、土器のかけらなどと一緒に捨てられていたようです。



1. おおとも□□: あやうく…  
有名な古代氏族と同じ お  
おとも」と読み、平安時代の  
竪穴住居跡から出土しました。  
円い形は珍しい。リサイクル  
のためか、つまみは錆つぶさ  
れ溶けています。  
( 県立歴史館蔵)

3. おうきょうしいん: 洪水砂の中から…

洪水砂は仁和4( 888)年と  
考えられます。出土地点の近  
くには平安時代の大集落もあ  
り、そこから流されてきたの  
かも知れません。  
( 県立歴史館蔵)



5. ちょうりょうしいん: 松本平の有力者か

平安時代の遺跡で、銅鏡や八稜鏡なども出土しています。私印は、9世紀後半の竪穴住居跡から見つかりました。印面には朱が残っています「長良」を、時の中納言であった藤原長良とみる解釈もありますが、最近の研究では「長良」はそれぞれ姓と名の一字を示すものとも考えられています。( 松本市教育委員会蔵)

8. めがみほうりいん: 神の印

諏訪大社下社の宝印で、印文の「賣神(めがみ)」は下社の祭神八坂刀賣神(やさかとめのかみ)、「祝(ほうり)」は大祝を示すものと思われます。1枚に7箇所押されている古文書も残っています。( 諏訪大社下社所蔵 国重要文化財)



2. むねきよ: 焼物のハンコ

10世紀前半の小さな竪穴住居跡から出土しました。土製の印鑑で印面の一部が欠けていますが「宗清」と読めます。南宮遺跡では平安時代の竪穴住居跡が1000軒も発見されており、村の中に印鑑を所有できる力のある人が存在していたと考えられます。( 長野市教育委員会蔵)

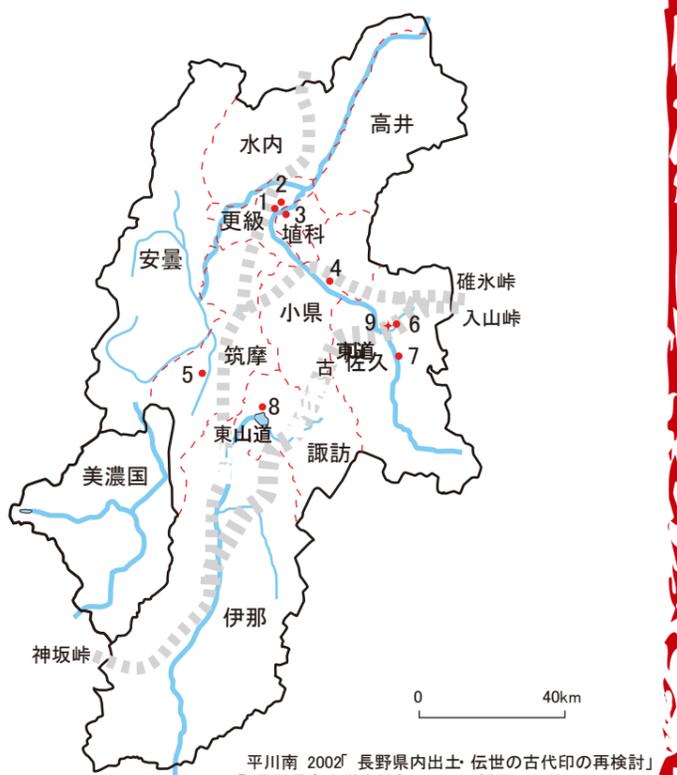


【ハンコいろいろ1】私印はどうやって読むの？

印の文字数には、1字 2字 4字があり、多くは4文字で構成されます。私印はその文字構成によって3つの書き方が考えられます。まずは【氏 ウジ】+ 私印】で「大半□□」が該当しそうです。つぎは【氏+名】のフルネームのものがあります「物部椿丸」印がこれに該当します。さいごは【ウジ名の頭文字+名の頭文字+私印】で、今回出土した西近津遺跡群の古代印はこれに該当すると考えられています。

## 特集: 古代信濃のスタンプラリー

古代印の分布



平川南 2002『長野県内出土 伝世の古代印の再検討』  
『長野県考古学会誌』99・100 挿図に加筆

長野県内出土古印一覧

番号	名称	出土地	大きさ (mm・g)			鈕の形状	材質	備考
			印面	高さ	重さ			
1	大[半]□□	長野市篠ノ井遺跡群	径4.1		45.46		銅	[半]は伴か
1	岑	長野市篠ノ井遺跡群	方3.6					印影
2	宗清	長野市南宮遺跡	方3.1	3.1		方錐	土	
3	王強私印	千曲市更埴条里遺跡	方3.2	4.1	61.9	蒼鈕有孔	銅	
4	穴口私印	上田市太田法楽寺遺跡	方2.8	2.8	35.8	蒼鈕有孔	銅	□は来ないし未
5	長良私印	松本市三間沢川左岸遺跡	方3.3	2.8	52.15	蒼鈕有孔	銅	
6	伯万私印	佐久市聖原遺跡	方3.5	6.2	83	方錐	石	
7	物部椿丸	(佐久市臼田)	方3.1	2.6		蒼鈕有孔	銅	伝世品
8	賣神祝印	(下諏訪町諏訪大社)	方5.0	3.6		蒼鈕有孔	銅	伝世品
9	釘子私印	佐久市西近津遺跡群	方3.3	3.2	52.05	蒼鈕有孔	銅	

引用文献 平川南2002『長野県内出土 伝世』長野県考古学会誌』99・100 桐原健2005『古代信濃の私印所有者』信濃』55-11

1. 土器( 岑 みね)の文字がスタンプ

篠ノ井遺跡群などでは「岑」( 峰の略字か)と記した土器がたくさん出土しました。「岑」が一つの村だけでなく、複数の村の共通のシンボルとして用いられたためと考えられます。( 県立歴史館蔵)



4. しし□しいん: 穴人部 ししひとべ)の印か

10世紀頃の遺物が出土した溝跡から発見されています。1字目の「穴」は食用の猪や鹿の獣肉をさし、鳥獣の調製にかかわった職業集団「穴人部」の氏の頭文字と考えられています。2字目は名の頭文字と考えられ「来」または「未」の文字とされています。( 上田市教育委員会蔵)

6. はくまんしいん: 県内唯一の石製印

平安時代の4×3.3mという、やや小さめの竪穴住居跡から出土しました。「伯万」とは「伯万呂」という人物名、あるいは「伯口」というウジ名と「万口」という人物名のそれぞれの頭文字をとったもの、という説もあります。( 佐久市教育委員会蔵)

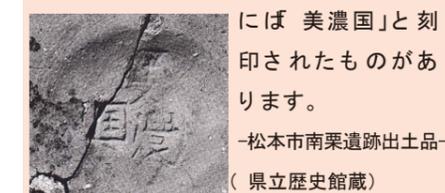


7. もののべちよまる: フルネームの古代印

江戸時代に個人の屋敷地から偶然発見され、今日まで大切に伝えられています。「物部」はヤマト王権を支えた大豪族のウジ名です。後の2文字は名を表しています。( 個人蔵)

【ハンコいろいろ2】ロゴマーグ 美濃国印

岐阜県的美濃須衛(みのすえ)窯製須恵器



「美濃国」と刻印されたものがあります。  
-松本市南栗遺跡出土品-  
( 県立歴史館蔵)

【ハンコいろいろ3】古代の焼印？

馬などに産地や所有者を示すために押



すものと考えられます。「金□」姓の人物でしょうか。  
-佐久市聖原遺跡出土品-  
( 佐久市教育委員会蔵)

\* 印影はすべてほぼ実寸大。  
写真 5-松本市教育委員会提供 6ハンコいろいろ3-佐久市教育委員会 聖原』第1分冊 第2分冊 8『下諏訪町の文化財』下諏訪町教育委員会

県内初、『迷故三界城』笹塔婆(千曲市東條遺跡)

梵字

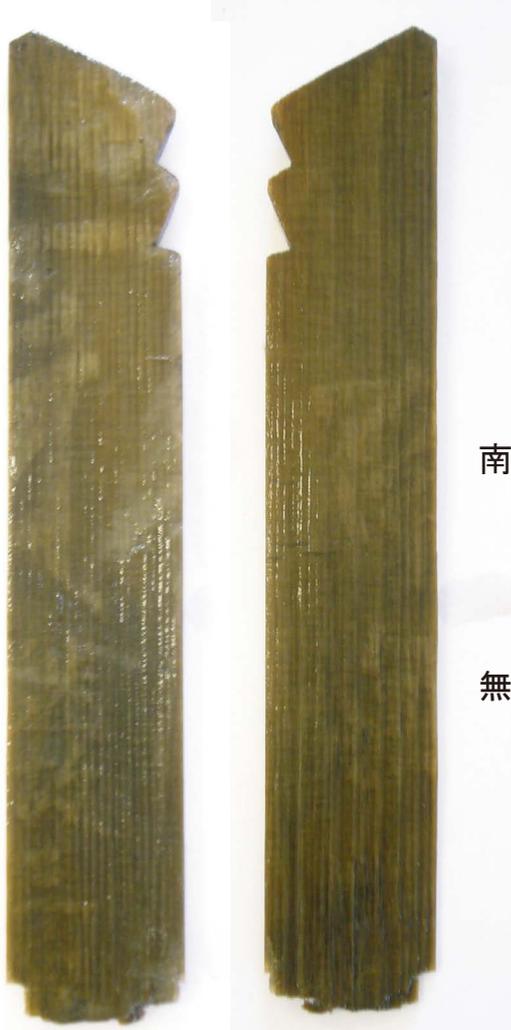
南

迷

無

故

三



長さ 146mm/幅25mm/厚さ 1~3 mm

「迷故三」と書かれた薄い板は「迷故三界城」(まようがゆえに、さんかいはしろなり)の一部と考えられます。この文字は現代に引き継がれている四国八十八箇所巡礼の菅笠に書かれており、庶民信仰の資料として注目されます。

この笹塔婆は中世(鎌倉~戦国時代)の石組井戸の中から出土しました。

○迷故三界城【迷うために凡夫の世界は城をめぐらせる】の意味。



長野県立歴史館秋季展 開催中

『武田・上杉・信濃武士』

期間: 平成19年10月13日(土)から

平成20年1月14日(月)まで

リレー講演会

演題『築城と破却—川中島をめぐる城の争奪—』

会場: 歴史館講堂

日時: 平成19年12月22日(土)午後1時半から3時まで

講師: 河西克造(県埋蔵文化財センター調査研究員)

来春開催予定!!

今年の発掘成果をいち早くごらんいただけます!  
ぜひお越しください。

平成20年長野県埋蔵文化財センター速報展

『長野県の遺跡発掘2008』

場所: 長野県立歴史館(千曲市)

期間: 平成20年3月15日(土)から5月11日(日)まで



野帳

今回の「古代印」特集はいかがでしたでしょうか。

発掘調査中に未知の遺物が出土した時、担当者は遺物の正体と遺跡でみつかった意味を考えます。西近津遺跡群の「銅印」は、まだ発見されたばかりです。発掘が進み、古代の西近津村の全体像が明らかになれば「銅印」がこの村に存在した理由も解明されるでしょう。

財団法人 長野県文化振興事業団

長野県埋蔵文化財センター

〒388-8007 長野市篠ノ井布施高田963-4

TEL 026-293-5926 FAX 026-293-8157

E-mail mai bun@grn.jani s. or. j p

HP <http://www.grn.jani s. or. j p/~mai bun/>